

平成29年8月20日

平成30年度

大学院経営管理研究科 経営管理専攻

修士課程 入学試験

(経営管理プログラム/経営分析プログラム/ホスピタリティ・マネジメント・プログラム)

【小論文試験問題】

以下の文章と図表は、マイケル・L・ロス著『石油の呪い 国家の発展経路はいかに決定されるか』から抜粋したものである（抜粋に際して、図表、注記および一部の文章を省略している）。この文章を読んで、以下の問1から問4に答えなさい。なお、解答にあたっては、全て日本語で書くこと。

- 問1 文章中の下線部（A）「この現象の背後にある原因」を500字で説明しなさい。
- 問2 文章中の下線部（B）に関連して、著者は、表3.1から、「石油は民主化に対して明らかにマイナスに作用する」という結論を導いている。この結論がこの表からどのように導かれるかを150字で説明しなさい。
- 問3 一国の石油収入と民主化の関係性について、図3.2から読み取れることを150字で説明しなさい。なお、図中の右下がりの破線は、石油と権威主義体制の持続性との包括的な関係を示している。
- 問4 表3.1、図3.2、図3.3、図3.4に基づいて、石油と民主主義の長期的関係性について400字で論じなさい。なお、図3.4におけるポリティスコアとは、民主主義を計測するために広く使用されているもので、民主主義スコアと同義である。

【文章】

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承ください。

出典：マイケル・L・ロス著『石油の呪い 国家の発展経路はいかに決定されるか』
吉田書店、2017年、pp.60-67.

【図表】

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承ください。

出典：マイケル・L・ロス著『石油の呪い 国家の発展経路はいかに決定されるか』

吉田書店、2017年、pp.95, 97, 99, 100.